

**令和2年度
自己評価・学校関係者評価報告書**

**学校法人佐山学園
アジア動物専門学校**

[1]教育理念・目標

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

評価項目	評価
学校の理念・教育の目的・育成人材像は定められているか	4
学校における職業教育の特色は明確になっているか	4
学校の理念・教育の目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか。	4

(自己評価)

建学の精神に基づき教育理念を定め、全国ペット協会等の関連業界・団体のニーズを反映させた育成人材像と教育目標を明確にして教育に取り組んでいる。

学校の理念や育成人材像等は、入学式等の学校行事や学生・保護者向け資料を通して在校生や保護者に周知しており、学校案内やホームページにより受験生や保護者等に周知している。

(課題と今後の改善方策)

関連業界・協会のニーズを反映させた育成人材像と教育目標の見直しを、継続して行う必要がある。

(学校関係者評価)

企業との連携を図りインターンを充実させるなど、現場とのマッチングを図る姿勢が見て取れる。今後も業界のニーズに合わせた人材育成を行ってほしい。

(特記事項)

なし

[2]学校運営

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

評価項目	評価
教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
学校運営に関する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4

(自己評価)

教育目標を達成するために、運営方針に沿った事業計画の策定と予算編成を行い教育活動に取り組んでおり、「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に沿って事業報告書や教育活動等に関して情報公開している。

また、人事等も含めた運営組織や意思決定機能、コンプライアンスに関する規定等を整備して学校を運営している。

(課題と今後の改善方策)

健全な学校運営を行うために、規定・マニュアル、組織等を定期的に見直す必要がある。

(学校関係者評価)

今後も適切な情報公開を通じて、保護者・学生から見ても学校運営が健全であることを公表していただきたい。

(特記事項)

なし

[3]教育活動

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

評価項目	評価
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの編成や見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
講義および実習に関するシラバスは作成されているか	4
学生アンケート等で、適切に授業評価を実施しているか	3
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
関連分野における業界等との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するマネジメントは行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか	4

(自己評価)

関連業界・協会等と連携して到達目標に沿って実習中心の教育課程を体系的に編成し、資格取得の指導体制を整備して教育活動に取り組んでいる。また、外部関係者の評価を教育課程の編成に反映させており、教員研修制度を充実させて質の高い教育を提供している。

(課題と今後の改善方策)

常に教育課程と学修成果を検証し、学生実態に合わせた見直しをする必要がある。

(学校関係者評価)

教員だけでなく事務局のスタッフも講習会に参加するなど、学校が一丸となり教育の質の向上に励んでいる姿勢が見て取れる。

(特記事項)

なし

[4]学修成果

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

評価項目	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

(自己評価)

充実した就職支援プログラムと個別サポート、資格取得支援体制の整備により就職率・資格取得率とも高い実績となった。また、学び始めてからコースを選択できる教育課程と少人数教育、本校独自の経済的支援制度により退学率の低減に取り組んでいる。

また、就職先企業等への訪問により卒業生の評価を把握しているが、より多くの卒業生の評価を把握して教育活動の改善に結び付ける必要がある。

(課題と今後の改善方策)

就職率と資格取得率の向上と退学率の低減のために、質の高い教育の提供と支援体制の整備に取り組んでいくとともに、就職先企業等へのアンケート調査を実施する等、卒業生の評価を教育活動の改善に活用していく。

(学校関係者評価)

今後も、資格取得に対して学生のモチベーションが上がるような指導を期待したい。

(特記事項)

なし

[5]学生支援

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

評価項目	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する支援体制は整備されているか	3
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

(自己評価)

必要に応じて三者面談を実施する等、保護者と連携して学生を支援する体制を取っているが、社会人に対しての更なる教育環境の整備のほか、卒業生に対する卒業後教育を強化する必要がある。

(課題と今後の改善方策)

学生や卒業生、社会人に対する支援体制の整備に取り組んでいく。

(学校関係者評価)

新卒だけでなく、現場経験を持つ人材を中途で採用する場合も多い。今後も、就職したものの何らかの理由で退職をした卒業生を支援してほしい。

(特記事項)

なし

[6]教育環境

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

評価項目	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災に対する体制は整備されているか	4
学校施設・設備等が定期的に管理・点検されているか	3
実習室等の学校施設・設備の利用割り当てが明確になっているか	4
インターンシップについて、依頼先と十分なコミュニケーションを取り、その内容、評価法等を事前に決めているか	4
海外研修制度はあるか。またその際の学生への指示、教育は十分に実施しているか	3

(自己評価)

施設・設備は専修学校設置基準を満たしており、教育上十分な環境を整備しているが、施設・設備の維持管理に関する規定やマニュアルについては、昨今の自然災害を想定し、更なる充実を図る必要がある。

防災に関しては、マニュアルを整備して毎年避難訓練を実施している。

インターンシップは、受入先に実習内容や評価方法等を事前に打ち合わせてから実施している。海外研修は、本年度は学事日程上研修期間を確保出来なかった為、実施していない。

(課題と今後の改善方策)

学校施設・設備の維持管理に関する規定やマニュアルの充実を図る。

(学校関係者評価)

油圧式のトリミングテーブルが導入されるなど、より現場に近い体制を取っていることが分かる。今後も更なる設備の充実に取り組んでいただきたい。

(特記事項)

なし

[7]学生の受入れ

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

価項目	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
学納金は妥当か	4

(自己評価)

学生募集活動に関しては、学校案内・募集要項・ホームページや高校訪問・オープンキャンパス・ガイダンス等を通して、求める学生像を明確にして教育課程の特色や学修成果等を正確に伝えている。また、学納金に関しては、近隣の動物系専修学校と比較して妥当な金額になっており、募集要項に必要な費用を記載している。

(課題と今後の改善方策)

今後も教育力を高めて、教育課程の特色や学修成果等を伝えることによって、適正な学生募集活動に取り組んでいく。

(学校関係者評価)

業界で求められる人材像を正確に伝えることで、入学生も将来の設計をしやすい。入学＝就職となるためには、学びの充実のほか、入学生側の職業理解も重要であると考え。今後も正確な情報の伝達を通し、学生募集が適正に行われることに期待したい。

(特記事項)

なし

[8]財務

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

評価項目	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

(自己評価)

財政基盤は安定しており、予算管理や会計監査は適正に行なわれ、決算情報もホームページ上に公開している。

(課題と今後の改善方策)

今後も適正な予算管理や会計監査を行い、財務情報を公開して財政基盤を安定させる。

(学校関係者評価)

今後も適切な情報公開を通じて、保護者・学生から見ても財政基盤が安定していることを公表していただきたい。

(特記事項)

なし

[9]法令等の遵守

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

評価項目	評価
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
自己評価結果を公開しているか	4

(自己評価)

法令と専修学校設置基準等を遵守し適切な学校運営を行っており、個人情報も規定を整備し保護に努めている。また、自己評価についてはホームページ上に公開しているが、内部監査体制を強化する必要がある。

(課題と今後の改善方策)

自己評価における内部監査体制の整備と内部監査員の更なるスキルアップに取り組む。学校関係者評価も含めて、PDCA サイクルを機能させなければいけない。

(学校関係者評価)

自己評価と学校関係者評価を活用して、課題の改善に繋げてほしい。

(特記事項)

なし

[10]社会貢献・地域貢献

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

評価項目	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4

(自己評価)

市と連携した定期的な学生ボランティア活動に取り組むほか、学校近隣の清掃活動を行うことで地域への貢献を目指している。

(課題と今後の改善方策)

今後も学校として社会貢献や地域貢献を支援する体制を維持する。

(学校関係者評価)

学校は地域の協力がなければ運営を維持できない。今後も地域・社会への貢献を通して、学生の感謝の気持ちを育み、ひいては学生が社会で必要とされる喜びを感じられるような体制を目指してほしい。

(特記事項)

なし